

# 公共交通における課題とコンセプト

---



## 課題

### ①入間市民の移動手段の確保

- 市民の日常的な利用施設である、公共施設や商業施設、福祉施設等の交流施設へのアクセス性確保
- 入間市民の移動手段確保に向けた公共交通空白地域・不便地域の解消

### ②公共交通の利便性確保

- 利用者ニーズに対応した公共交通の運行経路・本数などのサービス水準の設定

### ③公共交通の維持・改善

- 厳しい財政状況における公共交通サービスにおける行政経費の削減
- 公共交通の利用促進、効率的な運行計画による公共交通の収益性向上
- 持続可能な公共交通に向けた市民や交通事業者、近隣自治体等との協働体制による運営のしくみづくり



# 公共交通のコンセプト（案）

## 1. バス停までの移動手段

- 玄関までのサービスは、「福祉」と捉える（棲み分けを明確に）
- ただし、障がい者、高齢者への配慮はしっかりと（バリアフリー等）

## 2. 交通空白地への支援と市民の移動手段の確保

- 交通空白地への支援は、公共交通の第一義
- 多くの人が利用する公共施設や商業・医療施設等を結ぶ

## 3. 利便性の確保

- 既存バス路線との連携・共存
- ハード整備（バス停、車両等）とソフト整備（ルート、ダイヤ等）の両面から

## 4. 公共サービスとして維持・存続

- 採算性を確保することが目標ではなく、維持・存続できるサービスを提供
- 利用促進の方策や受益者負担も考慮